広報 たかのす
◇発行所・秋田県鷹巣町役場総務課
◇編集人・松尾剛一
◇発行部数 (6,300部)
◇頒価10円 ◇郵便番号 018-33
◇印刷所 成文社印刷所

交通事故のない明るい年末にしよう

交通安全運動 12月1日から一週間

年末を明るく過ごすため、県内一斉に十二月一日(月)から十二月七日(日)までの七日間、「年末を明るくする交通安全運動」を実施することになりました。

この運動は、秋の交通安全運動に成果をたらした町民総ぐるみ実践活動の盛り上がりをますます高揚するとともに、年末時に多発が予想される、酒飲み運転の追放と歩行者の交通事故防止を目標とし、町民の総力をあげて、すべての町民に交通安全思想の周知徹底と正しい交通ルールの実践を**断えることを目的として**います。

これだけは守ってください

重点推進目標

▽歩行者・自転車の交通事故防止

(歩行者)

1、横断は、左右を確認し手をあげて車の停止を確めてさっさと渡る。

2、車のかげから急に道路に出ない。

3、車のスピードに対する感覚、判断を身につける。

(自転車)

1、左側一列進行を実行する。

2、右(左)折するときは手をあげて合図し、対向、後続車に知らせる。

3、ブレーキ、ライト、後部反射器の整備を完全に行なう。

(運転者)

1、横断歩道の手前で停車している車の追越し、追抜きは絶対にしない。

2、追突事故防止のために、安全な車間距離を保つ。

3、無理な追越しは、絶対にしない。

4、雨の日、雪の日は、細心の注意をもって運転する。

▽酒飲み運転の追放

(家庭では)

1、車で出勤するときは、酒飲み運転しないよう必ず声をかけて送る。

2、車を運転してきた人には、絶対に酒をすすめない。

(運転者は)

1、運転をするときは、絶対に酒を飲まない。

2、酒を飲んだときは、絶対に運転しない。

(地域・職場では)

1、車を運転する人には、絶対に酒を飲ませない。

2、酒を飲んだ人には、絶対に運転させない。

地域・職場でも

▽多くの人が街頭に進出して指導を行なう。

1、一部特定機関、団体の街頭進出でなく、町内や部落ぐるみの街頭指導計画をたてる。

2、街頭指導の時間は、朝の登校前、夕方の下校、退勤時を重点に行なう。

3、町、県、国の機関の職員は率先して街頭に進出する。

4、事業場、会社、商店においても自主的に街頭に出るようにする。

▽交通安全自治会を組織しよう。

交通事故多発地域を中心に町内会、部落で安全会をつくりましょう。

1、飲料店、ドライブインなどの業者は、忘年会など飲酒の機会の多い年末時の酒飲み運転の追放に積極的に参加し、とくに従業員にその趣旨を徹底させましょう。

2、事業主は、車輌管理、労務管理、運行管理の適正をはかるとともに、運転者には酒飲み運転をさせないための職場規律を再確認し、その徹底をはかる。

3、酒飲み運転追放のための町内、部落における署名運動を行なう。

(私たちの手で酒酔運転を追放しよう)

納税も
家計に入れて
よいくらし

おかあさんの社会科

明治以後の町の変遷 ⑨

鉄道の発達

阿仁合線の巻1

—着工まで20余年は政戦史—

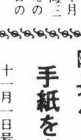
阿仁鉄道の敷設計画ははじめ阿仁奥部の炭鉱開発者によって発案された。が本格的な活動は明治末期から大正五年ころまでの阿仁鉱山黄金時代にしげきされ私鉄を開業しようと計画したのによる。

〈新線二十七の中に阿仁鉄道もふくまれていた〉

が十一月の議会に提出され、両院を通過して大正十二年四月一日に公布と十四日、郡公会堂において規約員を決定し請願運動を開始した。大正十一年第四十六議会において鉄道敷設改正法律案、の阿仁合線問題を中心に関係十二カ町村同盟は分裂し政民両県支部を主体として骨肉を削る争いを展開すなわち中央において町田忠治代議士、芳賀恒介(湯沢出身)、地元では阿仁合町長宮越惣兵衛、阿仁鉱山長が鉄道院に運動を開始し、大正六年阿仁軽便鉄道創設案として免許の認可をうけた。この計画は大正九年までつづけられたが古河本社の応ずるところとならず日北秋仙北両郡の「鷹巣角館線期成同盟会」は大正十年十月秋田市において発会式をあげた。両郡には支会を設け北秋支会(会長成田直一郎)は十月十四日、郡公会堂において運動を開始した。大正十一年第四十六議会において鉄道敷設改正法律案、が、当時民政、政友両党の政争を背景にした路線問題はデリケートに動き足なみの乱れることもあった。昭和二年田中内閣は積極政策をかかげ阿仁鉄道は昭和四年から起工と決定した。

しかし、着工を目指して路線問題を中心に関係十二カ町村同盟は分裂し政民両県支部を主体として強力に運動をすすめることになった。

昭和六年三月、町長の努力の結果、鷹巣/阿仁合間三四・四キロが全通したのは昭和十一年九月十日のことである。



すなわち中央において町田忠治代議士、芳賀恒介(湯沢出身)、地元では阿仁合町長宮越惣兵衛、阿仁鉱山長が鉄道院に運動を開始し、大正六年阿仁軽便鉄道創設案として免許の認可をうけた。この計画は大正九年までつづけられたが古河本社の応ずるところとならず日北秋仙北両郡の「鷹巣角館線期成同盟会」は大正十年十月秋田市において発会式をあげた。両郡には支会を設け北秋支会(会長成田直一郎)は十月十四日、郡公会堂において運動を開始した。大正十一年第四十六議会において鉄道敷設改正法律案、が、当時民政、政友両党の政争を背景にした路線問題はデリケートに動き足なみの乱れることもあった。昭和二年田中内閣は積極政策をかかげ阿仁鉄道は昭和四年から起工と決定した。

しかし、着工を目指して路線問題を中心に関係十二カ町村同盟は分裂し政民両県支部を主体として骨肉を削る争いを展開

昭和六年三月、町長の努力の結果、鷹巣/阿仁合間三四・四キロが全通したのは昭和十一年九月十日のことである。

なった。しかしこの可決は関東大震災の混乱によって翌年起工延期となった。

大正十五年にいたって「鷹巣角館線期成同盟会」は解散して沿道十二カ町村(鷹巣、沢口、七日市、上大野、下大野、落合、米内沢、下小阿仁、上小阿仁、荒瀬)による「阿仁鉄道期成同盟会」にきりかえられた。会長に成田直一郎を推し促進運動を起した。

また延期となった。

昭和五年七月北秋田郡町村会は時局の経済恐慌による失業者救済のため阿仁合線の着工促進陳情を可決し陳情にあたって路線問題に中立の阿仁合町長山本久蔵、前円村長、庄司鎖太郎、荒瀬村長、佐藤時治の三氏を仲介役として強力に運動をすすめることになった。

昭和六年三月、町村長の努力の結果、鷹巣/阿仁合間三一日、鷹巣/阿仁合間三四・四キロが全通したのは昭和十一年九月十日のことである。

(民政派)
予定線鷹巣/沢口～七日市～米内沢～前田～阿仁合
(政友派)
比較線鷹巣～上大野～米内沢～前田～阿仁合)

民政派は七日市線、政友派は井線を支持して莫大な運動費金を投じたところが七日市内閣の目的をみなかった。

北秋仙北両郡の「鷹巣角館線期成同盟会」は大正十年十月秋田市において発会式をあげた。両郡には支会を設け北秋支会(会長成田直一郎)は十月十四日、郡公会堂において運動を開始した。大正十一年第四十六議会において鉄道敷設改正法律案、が、当時民政、政友両党の政争を背景にした路線問題はデリケートに動き足なみの乱れることもあった。昭和二年田中内閣は積極政策をかかげ阿仁鉄道は昭和四年から起工と決定した。

しかし、着工を目指して路線問題を中心に関係十二カ町村同盟は分裂し政民両県支部を主体として骨肉を削る争いを展開

昭和六年三月、町村長の努力の結果、鷹巣/阿仁合間三一日、鷹巣/阿仁合間三四・四キロが全通したのは昭和十一年九月十日のことである。

善意ありがとう

鷹巣中学校一年五組と二年一組の生徒代表がこのほど役場を訪れ、同校文化祭で得た利益の一部二千三百円を町内の交通遺児や贈ってくださいと町社会福祉協議会に寄付されました。ご芳志に深く感謝します。

町長へ手紙を出そう

十一月一日号でお知らせしましたが、十一月三十日まで町長へ手紙を出す運動を行なっています。

これまで、多数の方からお手紙が寄せられています。町当局に対する要望、意見、苦情など、どしどしお寄せください。

出かせぎは相談所をとおして…

町出稼ぎ相談所をとおして県外へ就労した方は、十一月二十日現在で三百三人おり、昨年同期にくらべて百人ちかく増えています。

出かせぎ就労の正常化をはかるため相談所では必ず窓口をとおして就労するよう望んでいます。

なお、秋田県市町村交通災害共済に加入していて出かせぎされる方には、町長の証明書を交付しますので、係へ申し出ください。

鷹巣町出稼ぎ相談所(役場商工開発課内)

明るく正しい選挙"を

11月いっぱい強調月間

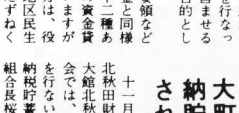
今月いっぱい「明るく正しい選挙推進強調月間」が行なわれます。

政治をよくして、明るく住みよい社会づくりをするには、選挙を明るく正しいものにする必要があり、また選挙を正しいものにするために、なんといっても有権者一人一人が、主権者としての良識をもって選挙に参加することが最も大切なことです。

この意味からし、鷹巣町選挙管理委員会と明るく正しい選挙推進協議会では、今月一カ月間運動することになりました。

十二月は衆議院の散解が予想され、その事前運動も展開されつつあります。

明るく正しい選挙運動が呼ばれてから相当年月がたつにもかかわらず、選挙



転入・転出した方へ

新しく二十歳になった方はもとより、転入、転出者も届出でしなければなりません。また、町内移動さえ届出でしなければ、転出前の選挙区で投票しなければなりません。早めに選挙管理委員会へ届出ください。

寡婦にも福祉資金を貸付けます

十月七日から秋田県寡婦福祉資金貸付制度が実施されました。

この制度は、いままで母子家庭の福祉については、母子福祉法を中心として行なわれてきましたが、子どもが二十歳に達し母子福祉法の対象外となった母子、子どものない配偶者を失った女子で、社会的、経済的になおお安定な方がみうけられるので、これらめぐまれない人に資金の貸付を行ない経済的自立の助成と生活意欲の手助けを行なって安定した生活を営ませるようにすることを目的とした貸付制度です。

なお、貸付けの要領などは母子福祉資金貸金と同様で、資金の種類は十二種あります。この制度の資金貸付けは、県で行ないますが制度を利用される方は、役場町民課福祉係か地区民生(児童)委員におたずねください。

交通事故でお困りの方はおいでください

県交通事故巡回相談所は12月3日午前10時から午後3時まで北秋田福祉事務所で行なわれます。

交通事故でお困りの方はぜひこの機会にご相談ください。くわしいことは役場総務課考査係へお問い合せください。

駅前と大町一丁目納貯が表彰される!!

十一月七日大館税務署と北秋田財務事務所および、大館北秋納税貯蓄組合連合会では、本年度の納税表彰を行ない、本町からは駅前納税貯蓄組合(鷹巣駅前、組合長桜田専蔵氏)に北秋田財務事務所長感謝状、大町一丁目納税貯蓄組合(鷹巣町大町組合長佐藤栄三郎氏)に納税貯蓄組合連合会長表彰がそれぞれ与られました。

駅前子ども会などに知事表彰

昭和四十四年度優良子ども会などの知事表彰式が十一月八日県正庁で行なわれ表彰をうけました。

▽優良子ども会=駅前子ども会(鷹巣・世話人、津谷テイさん、会員四十五名)

▽子ども会育成団体=栄地区子ども会育成会(会長田村一郎氏)、▽子ども会育成功労者=梅田善三郎氏(町子ども会育成会連絡協議会理事)

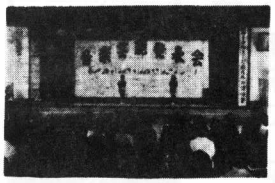
お宅にも郵便受箱と家族表札を

⊙もよりの郵便局であっせんしています⊙

教育文化祭

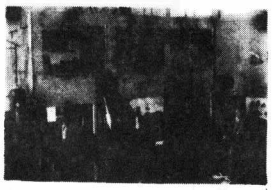
盛大に行なわれた教育文化祭

ことしの町教育文化祭は11月2日、3日の両日鷹巣小学校と鷹巣町公民館会場で盛大に行なわれました。教育文化祭は各種教育団体、文化団体などをもうらした展示、発表で町の文化の展望というものでありました。

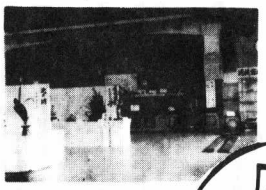


—青年会による芸能発表—

—討議が行なわれる教育座談会—



—防　火　展—



—民俗資料展と生花展—

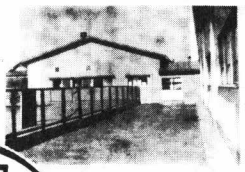
学校給食

鷹小で完全給食

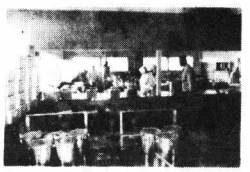
鷹巣小学校で待望の給食施設ができ、十一月六日から給食が行なわれました。給食施設は建物面積が一六二・二八平方米、工事費主体工事四百万円、施設および備品費四百五十万円、計八百五十万円で九月二十日しゅん工したものです。

給食は週五日間行なわれ、子どもたちの栄養を考慮して、安価でおいしい献立がなされています。

パンに牛乳、スープなど……
みんな仲よく食べよう
—1年3組で—



プール側に建設された
給食室

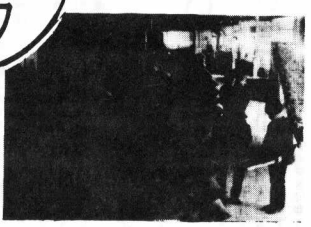


近代設備の給食室内部
配食も衛生的に行なわれる

広報フォートグラフ

上位米が少ないことしの稲作

米の予約売渡し最盛期が過ぎ、町内の各農家が予約申し込みした数量の九〇%（一六万二千俵）が出荷されています。等級別では、三、四等米が多く、上位米はほとんどないという状態です。この原因は、いろいろと考えられますが、米価据え置きと相まって、農家経済にかなりの打撃となるもようです。



—検査のもよう—鷹巣農協で—

—観閲をうける自衛隊パレード—

自衛隊が広報パレード

陸上自衛隊第21普通科連隊では11月4日トラック、ジープなど60車輌を繰出し、広報パレードを行ないました。米代町児童公園で出川町長らの観閲をうけ、松葉町を経て一路花輪町へ向った。

—発見されたストンサークル—

七日市でストンサークル出土

七日市字石倉岱（七日市農協附近）から環状列石（ストンサークル）の一部が発見された。

昭和33年にも近くから元鷹巣農林高校教諭、大和久貫平氏によって発掘調査がなされ、出土器から縄文時代後期のものと推定され、学術上貴重な遺構とされている。

町の話題

一億円が灰に火災による町の損害

十五日から二十一日まで火災予防運動が行なわれましたが、ことしはすでに町内で26件、この損害額は一億七十五万三千円となっています。これは公営住宅四十戸分の建設費に相当する金額となり、莫大な損失といわなければなりません。

いま一度、火事のおそろしさを認識し、火災ゼロの町にしたいものです。

—ちよっとした油断が大火災となる—

季節の窓

今月の歴史

〈11月〉

▽第二警察出張所（大館）▽鷹巣分屯所置く（明治8年）▽奥羽本線鷹ノ巣・能代間開通（同34年）▽北秋田郡公会堂落成（同35年）▽公衆電話開通（同36年▽第五回遠族院議員に河田与惣左衛門当選（同39年）▽葛黒小が竜森小から独立、校舎落成（同40年）▽鷹巣青年団創立（同42年）▽黒沢小開校式（大正11年）▽小林区署を鷹巣に移転（同13年）▽秩父宮殿下ご来町（昭和10年）▽鷹巣小学校今舎増築落成（同10年）▽阿仁合線米内沢・前田間開通（同10年）▽鷹巣国防婦人会創立（同10年）▽北秋田郡各種連合会事務所新築落成（同年）▽秩父宮　仁親王殿御成記念碑しゅん工（注・昭和43年5月18日十勝沖地震で破損）（同14年）▽坊沢国民学校観音堂分校（現緑ケ丘小）に落雷全焼（同16年）▽地教委設置、委員公選（同27年）▽旧坊沢村庁舎新築（同29年）▽葛黒部落で26ヘクタールむね焼く（同29年）▽鷹巣小学校で校歌、校旗を制定（同29年）▽栄小学校校舎落成（同30年）▽明り又産業道路着工（同30年）▽第79回秋田県種苗交換会開催（同31年）▽職業安定所鷹巣出張所新庁舎しゅん工（同40年）▽町村合併十周年記念造林、堤の沢など二十六ヘクタール（同41年）▽成田喜八氏秋の園遊会へ招待される（同41年）▽農林省鷹巣統計事務所新庁舎へ引越し（同41年）▽脳神生活総合センターしゅん工（同42年）▽鷹巣北小路道路舗装しゅん工（同42年）▽鷹巣小路道路舗装しゅん工（同42年）▽鷹巣ライオンズクラブ結成祝賀会（同42年）▽鷹巣町の木に〝秋田スギ〟を決める（同42年）▽鷹巣・坊沢線道路工事が鷹巣中校門前から高丁場まで舗装（同42年）▽明治百年教育と文化祭典（同43年）▽綴子県営土地改良事業起工式（同43年）▽鷹巣町観光協会設立（同43年）▽米代町～広小路交差点と横町に交通信号機設置（同43年）

〈12月〉

▽鷹巣郵便局設置（明治12年）▽黒沢小が坊沢小黒沢分教場として創立（同12年）▽綴子小岩谷分教場開設（同14年）▽七座簡易小学校創立（同22年）▽鷹巣営林署開署（大正3年）▽鷹巣小学校校舎増築し女子校で使用する（昭和3年）▽阿仁合線鷹の巣～米内沢間開通（同9年）▽盛岡電気を奥羽電燈鷹巣出張所と改称す（同14年）▽大館国民職業指導所鷹巣出張所設置（後の職安鷹巣出張所）（同16年）▽葛黒小学舎現在地に新築落成（同22年）▽鷹巣電報電話局設置（同26年）▽政令で一級国道七号線に（同27年）栄・田沢で大火あり十六戸のうち十一戸焼出す（同29年）▽坊山分校舎新築落成（同29年）▽檜沢駅しゅん工開業（同31年）▽鷹中清風寮開設（同37年）▽全日本学校植林コンクールで竜森小が特選となる（同38年）▽鷹巣町で「白ろう病」患者四人確認（同40年）▽鷹巣南中二十周年記念事業完工祝賀会（同42年）▽県営鷹巣土地改良事業しゅん工（同42年）▽鷹巣電報電話局電話自動化開通（同42年）▽鷹巣町青少年健全育成会初足（同42年）